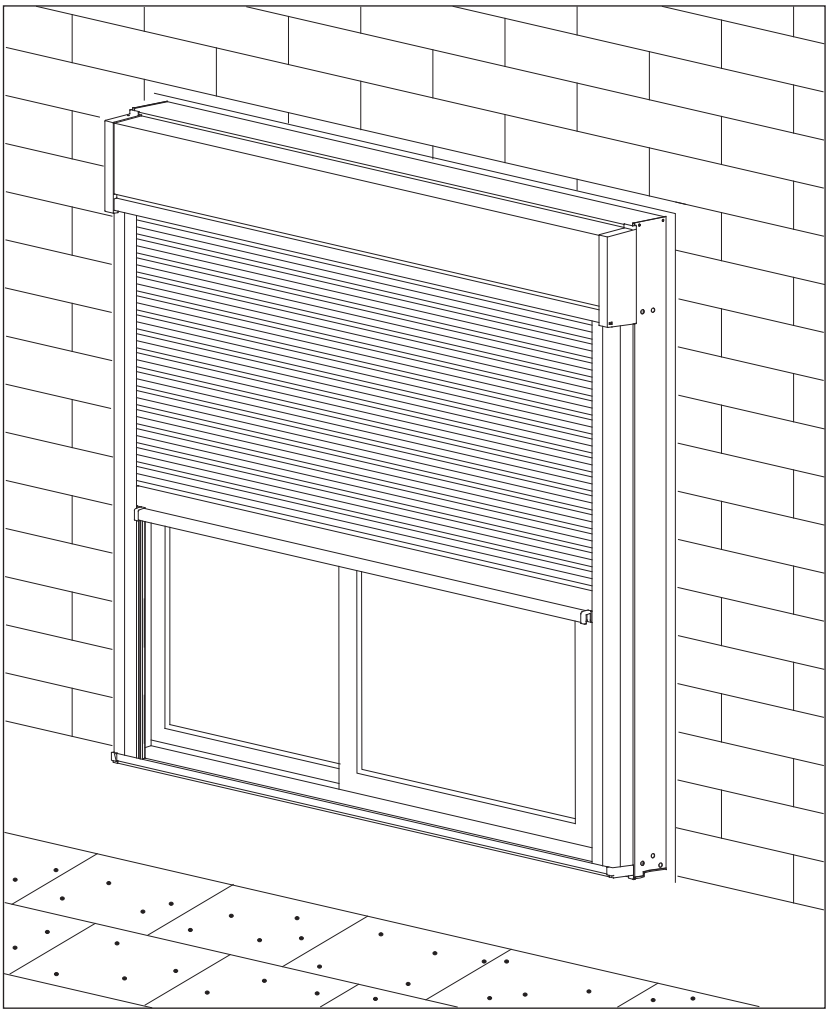
説明書番号　　MNT-1048 改-1

〈お客様用〉

『アルプラクラス』・『アリッツ』

アルミ電動・スチール電動タイプシャッター

取扱説明書



ご使用の皆様へ

1．この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
　わからないことや不具合が生じた時にはもう一度ご覧ください。
　また、いつでも使用できるように大切に保管してください。

2．配電ブレーカーをＯＮにしてから、シャッターを初めてご使用になるときは必ずはじめに
　各シャッターの近くに設置してある操作スイッチの「開」ボタンを押してください。
　（詳しくは12ページ「通電後の操作方法」をご覧ください。

⚠ 安全にお使いいただくために

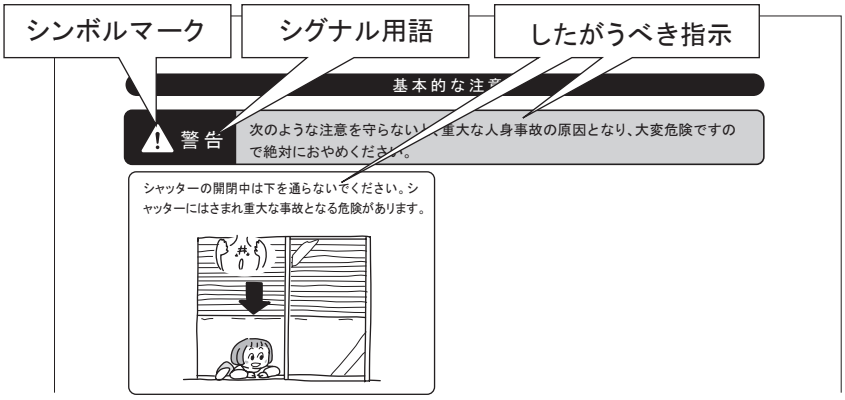
●シャッターのご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、理解してからご使用ください。

● 本取扱説明書では、安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、次のようなシンボルマークとシグナル用語を使用しています。

⚠警 告　取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第３者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

⚠注 意　取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第３者が、軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

本文では以下のように使用します。



「シグナル用語」に続く指示を十分に守らないと、人身事故につながることになります。

●上記以外の「お知らせ」には次のようなシグナル用語を使用しています。

注 記　取扱いを誤った場合に、本製品に故障が発生したり、性能が発揮できないことが想定される場合。

目　　次

1．⚠ご使用上の注意
　表示ラベルについて／本取扱説明書の適用機種 …… 2
　基本的な注意 …… 3～6
2．製品の概要
　各部の名称とそのはたらき …… 7～10
3．ご使用方法
　操作スイッチによる操作 …… 11～12
　非常開放時の操作方法 …… 13
　タイマーコントローラー（別売品）について …… 14
　赤外線リモコン（別売品）について …… 15
4．お手入れ方法 …… 16
5．故障かなと思ったら …… 17
　シャッター開閉の上下限位置再設定の方法 …… 18
6．製品保証について …… 19

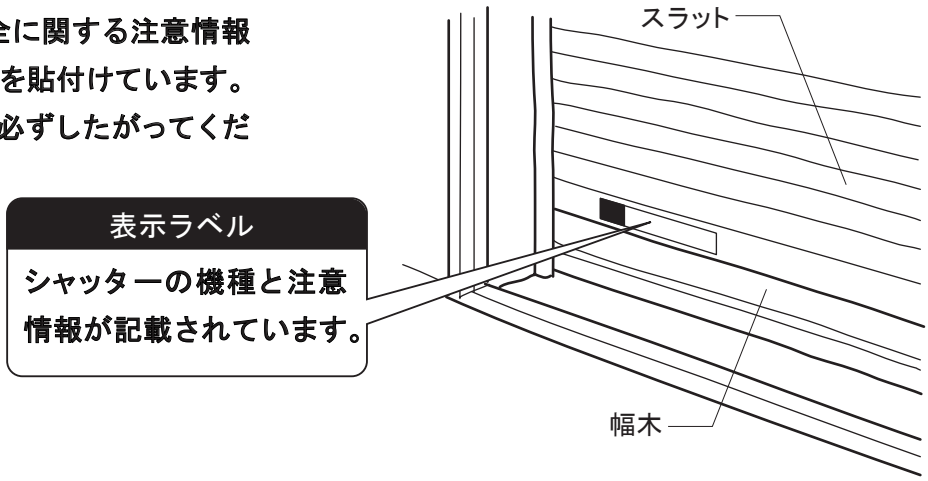
1.⚠ご使用上の注意

●この章に記載されている内容をよくお読みいただき、完全に理解したうえで窓シャッターをご使用ください。
●この取扱説明書は、必要なときにいつでも取り出してお読みいただけるよう大切に保管してください。
●窓シャッター屋内側に貼付けされている表示ラベルと、この取扱説明書すべての注意および指示にしたがってください。

表示ラベルについて

●本製品には、危険と安全に関する注意情報を記載した、表示ラベルを貼付けています。表示ラベルの指示には必ずしたがってください。

《窓シャッター内観》



本取扱説明書の適用機種

●この取扱説明書は、窓シャッターの次の機種のご使用方法を説明したものです。窓シャッター屋内側のラベルに表示されている機種を確認のうえ、該当する項目をよくお読みいただき確かめてからご使用ください。

各機種の説明

スチール電動タイプ

電動11

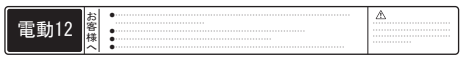
（表示ラベル

）

・スチール製スラット
・操作スイッチにより電動でシャッターを開閉させます。

スチール電動タイプ
（全開口サッシ用、装飾窓用）

電動12

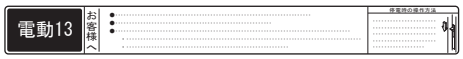
（表示ラベル 

）

・スチール製スラット
・操作スイッチにより電動でシャッターを開閉させます。

アルミ電動換気採光タイプ

電動13

（表示ラベル 

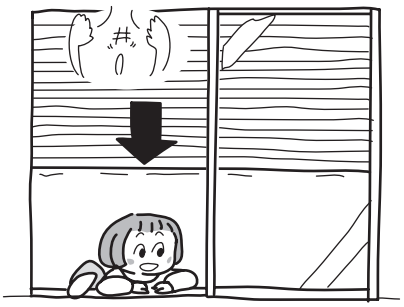
）

・アルミ製（スリット孔付）スラット
・操作スイッチにより電動でシャッターを開閉させます。
・操作スイッチの操作により任意の位置で換気採光状態にできます。

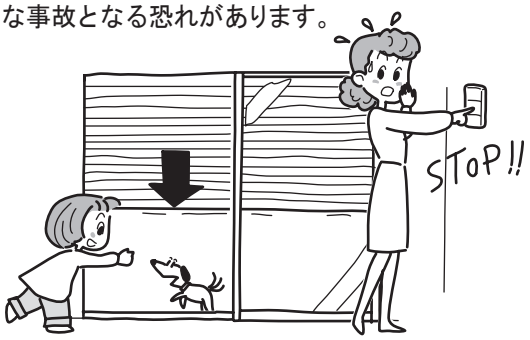
基本的な注意

⚠ 警告　**次のような注意を守らないと、重大な人身事故の原因となり、大変危険ですので絶対におやめください。**

シャッターの開閉中は下を通らないでください。
シャッターにはさまれ重大な事故となる危険があります。



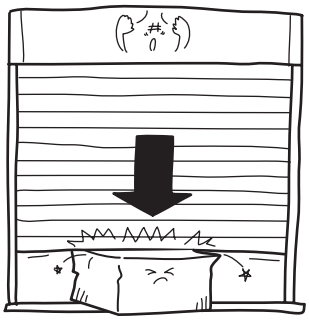
シャッターの動作が終了するまで確認してください。
自動運転のため、お子様などがはさまれますと、重大な事故となる恐れがあります。



操作スイッチは濡れた手で操作しないでください。
感電の恐れがあります。

⚠ 注意　**次のような注意を守らないと、ケガや故障の原因となりますので注意してください。**

シャッターの開閉に支障となるようなもの（植木・箱など）置かないでください。
シャッターや器物を破損する恐れがあります。

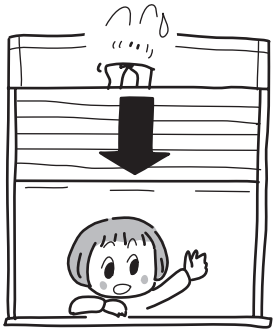


操作スイッチをむやみに押したり、乱暴な扱いをしないでください。シャッターが動かなくなることがあります。

基本的な注意

注意　次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとケガや事故につながる恐れがあります。

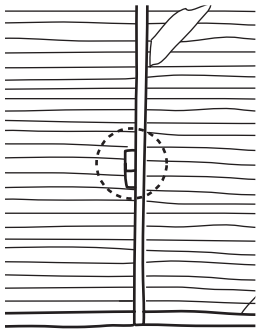
シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。シャッターにはさまれてけがをする恐れがあります。特にお子さまにはご注意ください。



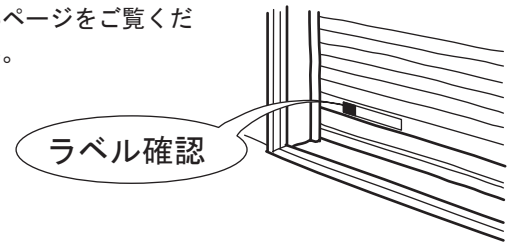
窓シャッターのボックスは変形しやすいので、はしごをかけたり上に乗ったりしないでください。落下してけがをする恐れがあります。

シャッターの分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造が原因で事故になる恐れがあります。

おやすみまたは外出の際は、防犯上、内側のサッシの錠をかけてください。また、強風時にも同様、内側サッシの錠をかけてください。

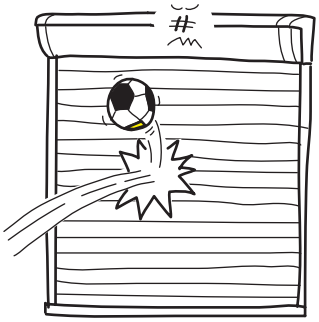


非常開放時の操作方法は13ページをご覧ください。



ただし、表示ラベルに記載されている機種が 電動12 の場合は、停電時に手動にて操作することができません。シャッターが降りている場合はこの窓から避難できませんので、他の場所から屋外へ避難してください。

窓シャッターには、故意に物をぶつけたりしないでください。
変形して動かなくなる恐れがあります。

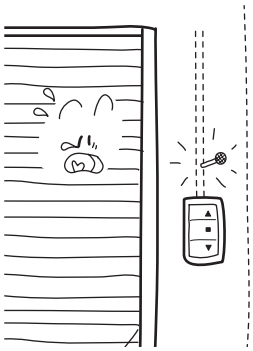


常時シャッターを使用しない場合でも少なくとも1ヵ月に2～3回は開閉してください。
長期間動かさないとスムーズに動作しなくなります。

基本的な注意

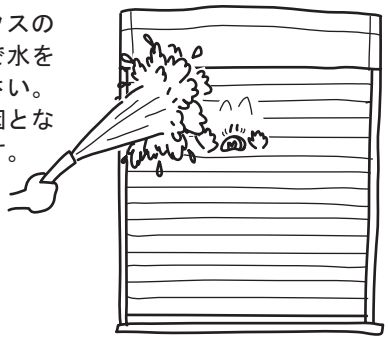
⚠ 注意　**次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとケガや事故につながる恐れがあります。**

シャッターや操作スイッチのまわりの壁にクギを打たないでください。
配線を傷つけますと漏電したりショートして事故になる恐れがあります。



シャッター動作中、無理にひっぱったり、押し上げたりしないでください。
故障の原因となる恐れがあります。

シャッターボックスの中に直接ホースで水をかけないでください。
漏電や故障の原因となる恐れがあります。

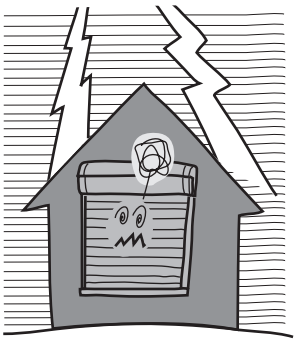


雪が積もったり、氷結した状態で使用しますと故障の原因となりますので取り除いてからご使用ください。

操作スイッチやリモコンスイッチに水をかけないでください。
漏電や故障の原因となる恐れがあります。

シャッターの連続運転は避けてください。長時間運転しますと、温度上昇のため、故障する恐れがあります。

落雷や静電気等の外部からの影響により機器が正常に作動しないことがあります。
また、落雷の大きさによっては作動不良になる恐れがあります。



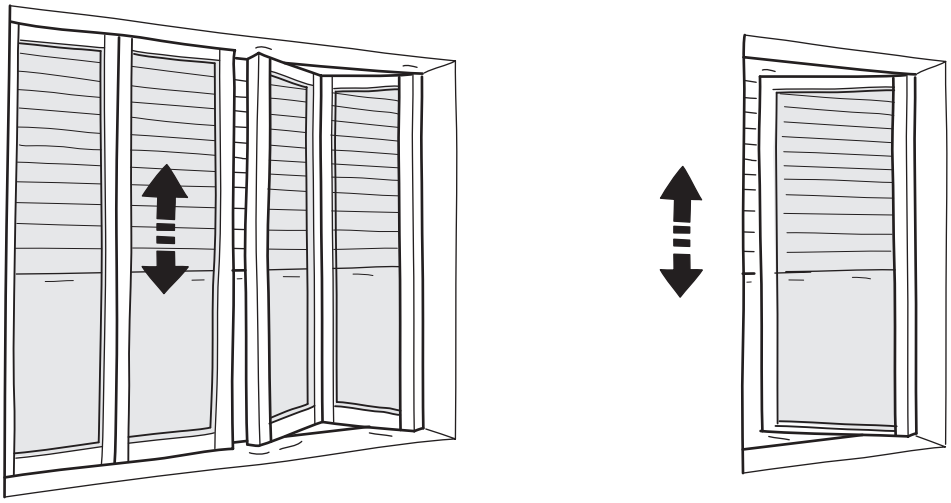
操作スイッチは鋭利なもので操作しないで下さい。
操作スイッチの破損、感電の恐れがあります。

基本的な注意

⚠ 注意　**次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとケガや事故につながる恐れがあります。**

《電動12 をご使用の場合》

室外側に開く動作をする窓の場合は、必ず窓を閉じた状態でシャッターの開閉を行ってください。
また、シャッターの開閉中は、サッシを開けないでください。
シャッターとサッシがぶつかり、故障の原因になります。



2 .製品の概要

各部の名称とそのはたらき

本体《外観》

シャッターボックス

巻き込んだスラットを収納します。機種により形状は異なります。

スラット

シャッターの扉本体です。
上昇、下降により開閉します。

ガイドレール

スラットの左右の端を支持し、開閉時の案内をします。

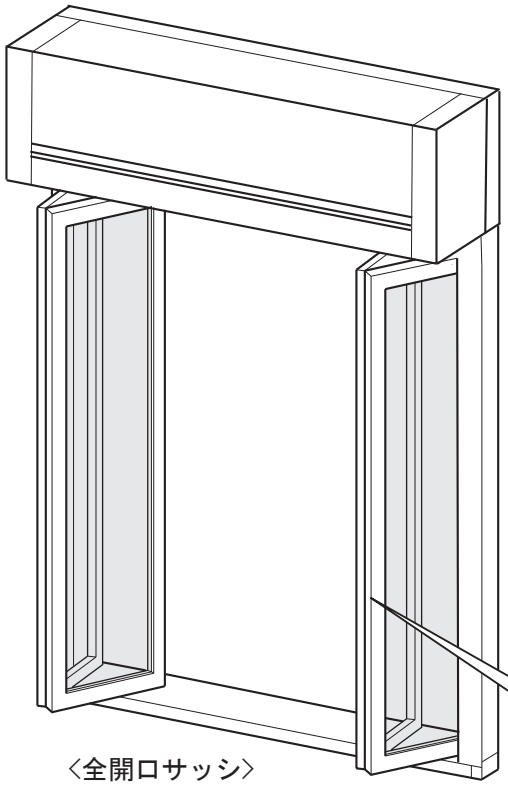
幅　木

モーターロックが作動する為、幅木錠はありません。

下　枠

シャッターの下限位置となります。

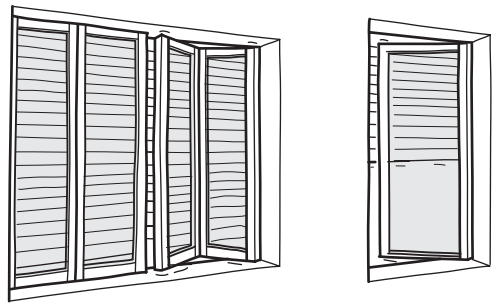
電動12 スチール電動タイプ（全開口サッシ用、装飾窓用）



〈全開口サッシ〉

⚠ 注 意

このタイプは、停電時に手動にて操作することはできません。
シャッターが降りている場合はこの窓から避難できませんので、他の場所から屋外へ避難してください。

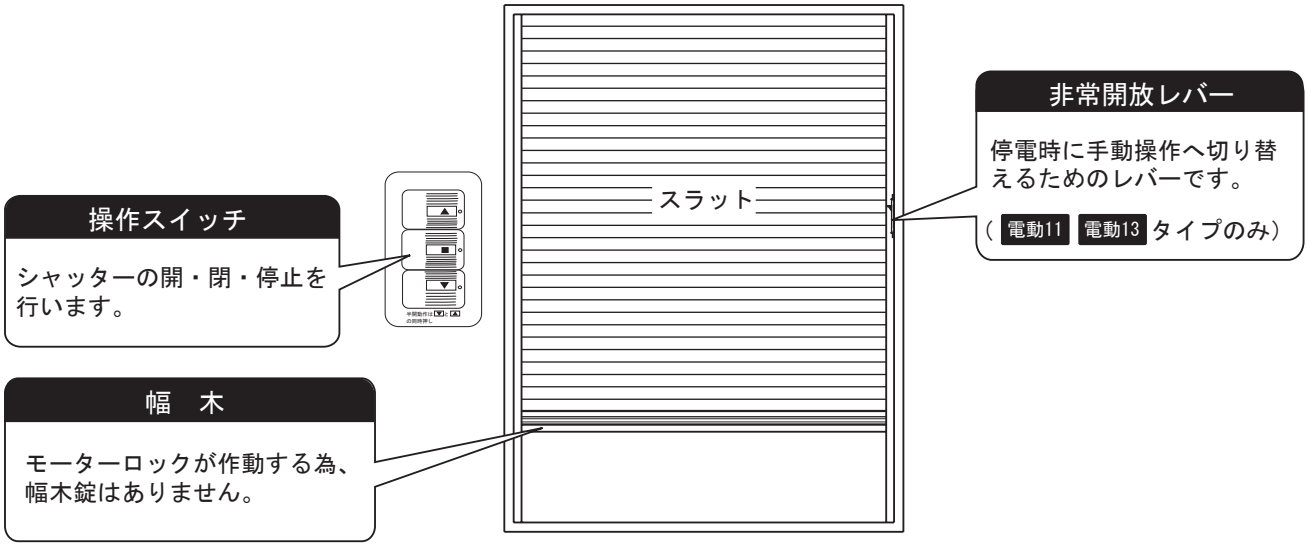


サッシ障子

シャッターが全開の時だけ障子をあけられます。

各部の名称とそのはたらき

本体《内観》



※ 電動12 に非常開放レバーはありません。

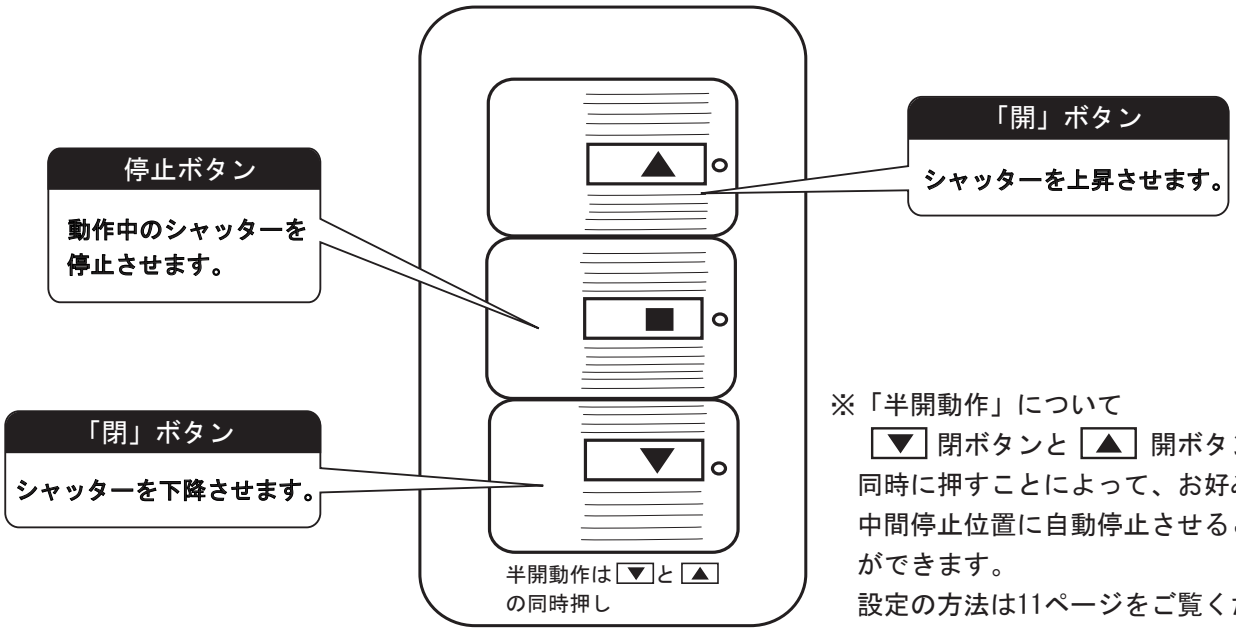
シャッター本体製品仕様

使用条件	周囲温度	－10℃～40℃(凍結を除く)
	周囲湿度	RH85％ 以下
	周囲環境	沿岸部、腐食環境などを除く
電動機構	使用電源	単相100V
	周波数	50/60Hz
	定格消費電力	最大40W以下

※シャッターを閉めても枠部材との隙間から入る光を完全に遮ることはできません。さらに暗くしたい場合は、遮光カーテン等をご利用ください。

各部の名称とそのはたらき

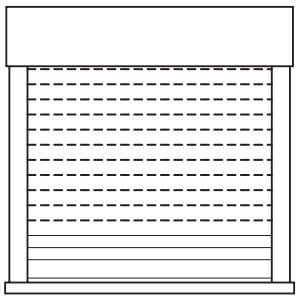
操作スイッチ



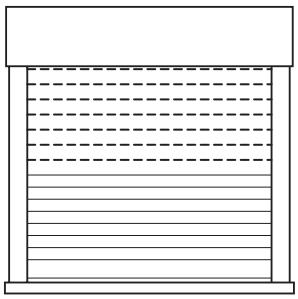
※「半開動作」について
▼ 閉ボタンと ▲ 開ボタンを同時に押すことによって、お好みの中間停止位置に自動停止させることができます。
設定の方法は11ページをご覧ください。

アルミ換気採光スラット（電動13のみ）

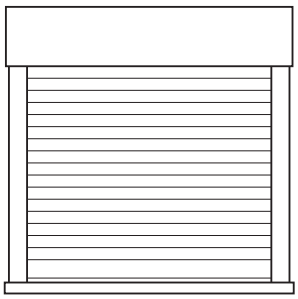
シャッターを半開動作させるか、操作スイッチの「開」、「閉」ボタンでシャッターを開閉させ、お好みの位置で「停止」ボタンを押し、シャッターを停止させてください。



換気採光状態



上部だけ
換気採光状態



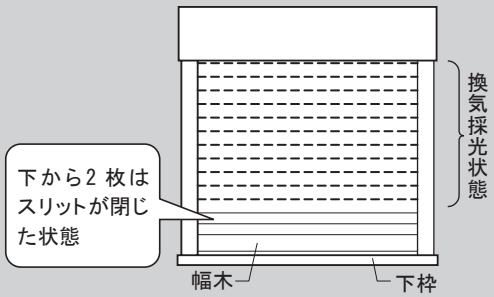
完全に閉めた状態

※ 電動11 電動12 はスチールスラットになります。

⚠ 注意

電動13 をご使用の場合

●換気状態にするときは、下から２枚以上はスリットが閉じた状態で停止させてください。
幅木が下枠から離れた状態で停止させると、外から開けれらます。



各部の名称とそのはたらき

機種と機能

機種により機能が異なりますので、シャッター屋内側表示ラベルをご確認のうえ、
下表をご覧ください。

機種		電動11	電動12	電動13
ロック方式	幅木錠	—	—	—
	モーターロック	○	○	○
障害物検知機能	負荷検知方式	○	○	—
	幅木部検出方式	—	—	○
非常開放レバー		○	—	○

「○」…標準装備、「—」…装備なし

ロック方式

●モーターロック

シャッター停止時にモーター部ブレーキにて自動的にロックされます。

注 記 ●おやすみまたはおでかけの際は防犯上、サッシの錠を必ずかけてください。

障害物検知機能

●負荷検知方式（ 電動11 電動12 ）

シャッターが閉動作中に障害物に当たり、モーターに負荷が加わるとその場で停止、または反転上昇し、停止します。

●幅木部検出方式（ 電動13 ）

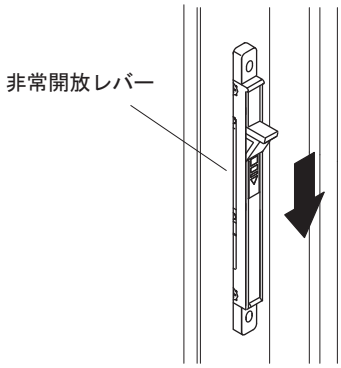
シャッターが閉動作中、幅木下部に障害物が当たると、反転上昇し、停止します。

注 記 ●障害物検知機能は万が一の場合の機能ですので、開閉中はシャッターに触れないようにしてください。

非常開放レバー

●非常開放レバー（ 電動11 電動13 ）

停電時に手動操作へ切り替えるためのレバーです。

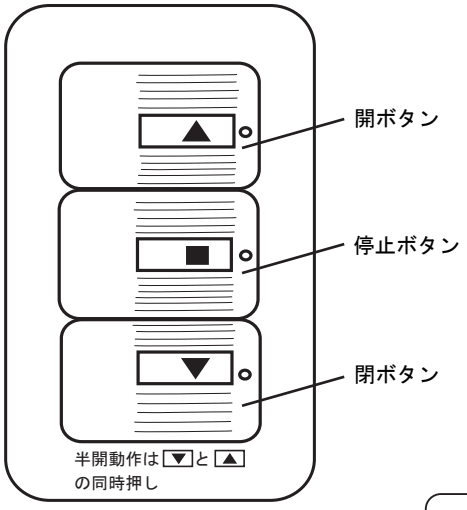


3 .ご使用方法

操作スイッチによる操作

●操作スイッチ

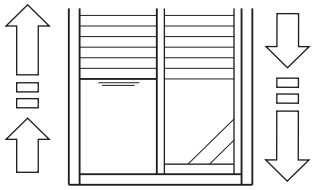
①障害物の有無を確認してから操作してください。
②操作スイッチによる動作を右表に示します。



作動状況	操作方法
開ける時	操作スイッチ ▲ 開ボタンを押してください。
止める時	操作スイッチ ■ 停止ボタンを押してください。
閉める時	操作スイッチ ▼ 閉ボタンを押してください。
半開動作させる時	操作スイッチ ▲ 開ボタンと ▼ 閉ボタンを同時に押してください。 ※お好みの中間停止位置を予め設定してください。（下記参照）
障害物検知装置が働いた時	シャッター下降中に幅木が障害物に接触し、負荷がかかるとシャッターは10秒間反転上昇し、停止します。開閉機（モーター）部から、「ピーピーピーピーピー」と音が鳴ります。

※障害物を取除いた後、正常に開閉作動するか確認してください。

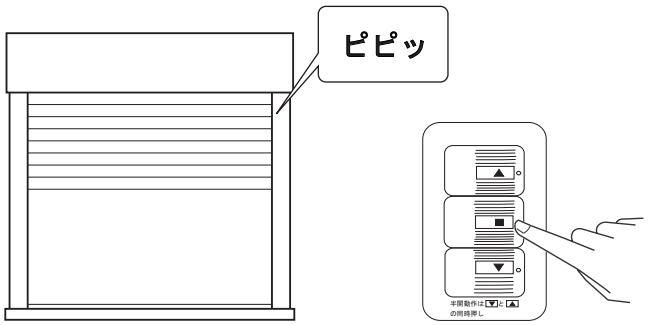
●開閉時シャッターの動きについて



●本商品は、電動モーターの出力とシャッター質量とが、巻取り軸に取付けのスプリング力でバランスを取りながら開閉する構造となっております。特性上、開閉途中で引っ掛かるような動きをする場合もありますが、異常ではありません。（品質上問題ありません。安心してお使いください。）

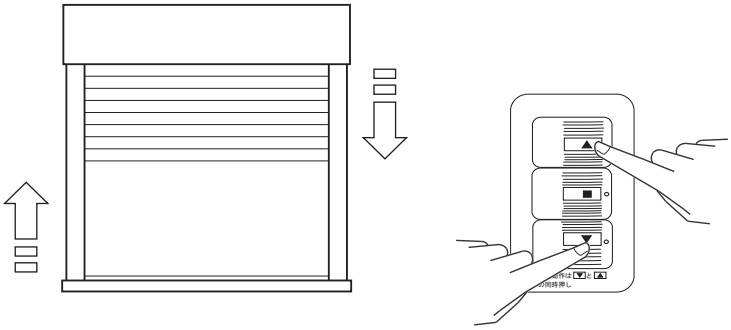
「半開動作」の設定方法

①お好みの中間停止位置でシャッターを一旦停止させます。
②停止している状態で ■ 停止ボタンを押しつづけてください。（約５秒間）
③シャッターボックスから「ピピッ」という音が聞こえたら設定終了です。



「半開動作」の操作方法

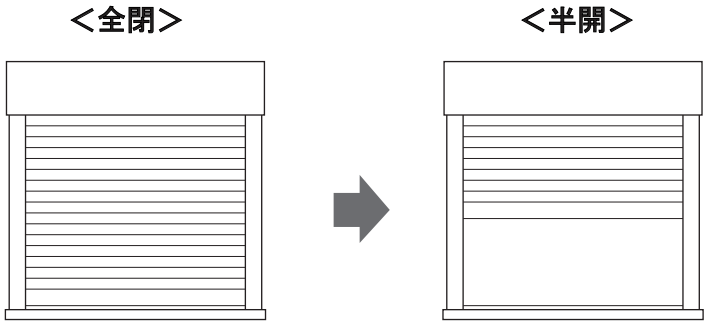
「開ボタン」と「閉ボタン」を同時に押すと、予め設定しておいたお好みの中間停止位置に自動停止させることができます。
※半開位置が未設定の場合は「ピピピピ」と音が鳴ります。
※半開動作はリモコンでは操作できません。



●スチール電動タイプ

電動11

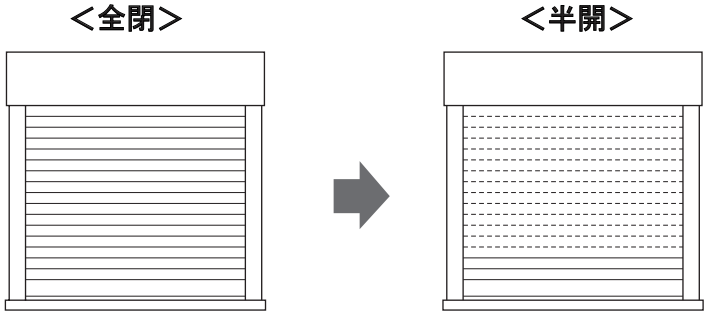
電動12



中間位置で停止させることができます。

●アルミ電動
換気採光タイプ

電動13



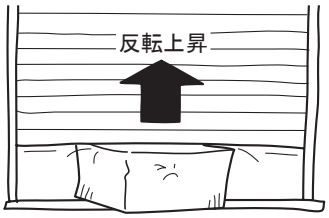
換気採光状態の位置で停止させることができます。

障害物検知機能の説明

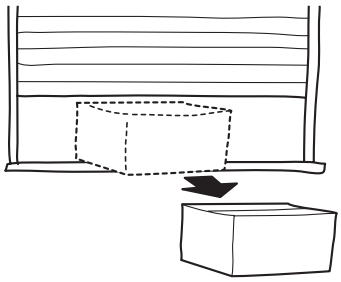
⚠ 注意

●シャッターの開閉に支障となるようなものを置かないでください。
シャッターや器物を破損する恐れがあります。
●物を挟んだり、作動中に下を通過する等の行為はおやめ下さい。

①下降中、障害物によりスラットに負荷が加わるとその場で停止または反転上昇し、停止します。
※反転上昇・停止後に、シャッターボックス内で「ピーピーピーピーピー」というブザー音が鳴ります。



②障害物を取り除き、再度開閉操作を行ってください。
※シャッターの中央付近より上及びシャッターサイズが小さい場合は障害物検知機能が利きにくい場合があります。

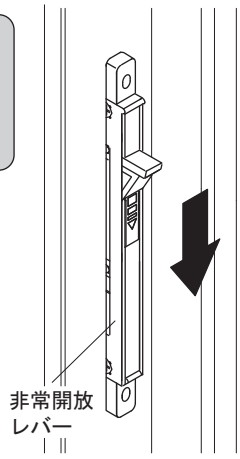


非常開放時の操作方法

電動11 電動13 の電動タイプのシャッターは以下の手順で手動操作できます。

⚠注意

- 手動操作への切り替えは「停電時または非常時」以外は行わないでください。故障の原因になります。
- 手動操作への切り替えた際にシャッターが巻き上がり、幅木が非常開放レバーより上の位置まで上昇してくる場合があります。ご注意ください。

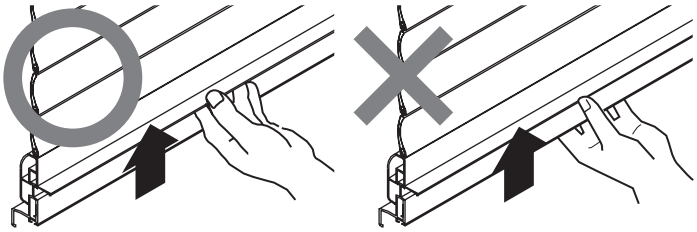


手動操作に切り替える

①ガイドレールについている非常開放レバーを押し下げます。
　※通電中に上記操作を行うとシャッターボックスから「ピーピー・・・」というブザー音が鳴ります。(60秒連動)
②幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の速さで開閉操作してください。
③もう一度非常開放レバーを押し下げると、モーターロックがかかります。
　※通電状態であれば、操作スイッチの ▲ 開ボタンを押しても自動復帰します。

換気採光タイプの手動操作について

シャッターを手動操作する場合は幅木の屋内側の手がかりに指を掛けて持ち上げてください。幅木の下からすくい上げたり、屋外側から持ち上げると、ガイドレール内のテープスイッチが破損する恐れがあります。



通電後の操作方法

①操作スイッチの ▲ 開ボタンを押して上限で自動停止させてください。
②操作スイッチの ▼ 閉ボタンを押して下限停止位置まで問題なく電動動作することを確認してください。
③その後は操作スイッチで通常動作可能です。

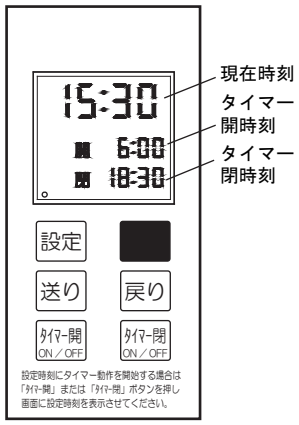
※手動操作へ切り替えた後、または配電ブレーカーをＯＮにした後は、シャッターを１往復させるまでは「半開動作」の設定及び操作はできませんが、故障ではありません。
手動操作へ切り替えた後、または配電ブレーカーをＯＮにした後は初めに ▲ 開ボタンを押して上限で自動停止させ、次に ▼ 閉ボタンを押して下限停止位置まで電動動作させてください。
その後は「半開動作」の設定及び操作が可能になります。

⚠注意

- 電動13 は非常開放レバーを押し下げるときにシャッターが上昇し大きな音がしますが故障ではありません。
- 通電後、上昇させずにシャッターを下降させると下限でダブついて停止します。また、障害物があった場合は反転上昇しません。（その場合は ▲ 開ボタンを押し、上限で自動停止させた後、▼ 閉ボタンを押して下限停止位置まで電動動作させると通常動作可能になります。
- 電動13 の場合は手動操作に切り替えた後 ▼ 閉ボタンを押しても「ピピピピ」と音が鳴ってシャッターは下がりませんが故障ではありません。上記の「通電後の操作方法」の手順に従って、まずは ▲ 開ボタンを押してください。
- 電動でシャッターが動いてる最中に非常開放レバーを押し下げないでください。
- 電動13 は手動で閉めたときには換気採光状態にしかなりません。（全閉しません）
- 電動12 は停電時に手動にて操作することはできません。シャッターが降りている場合は避難できませんので、他の場所から避難してください。

タイマーコントローラー（別売品）について

■現在時刻およびタイマー開時刻、タイマー閉時刻の設定方法



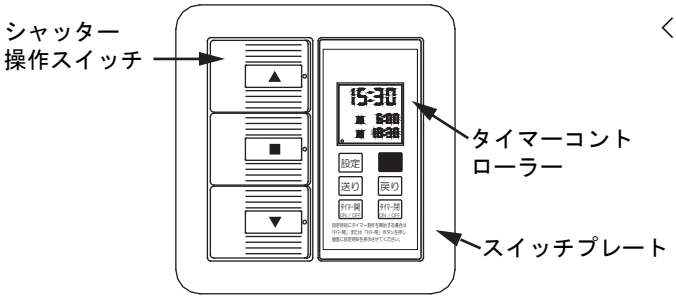
①「設定」ボタンを１回押すと現在時刻表示が点滅し、現在時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
②「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押して、現在時刻の設定（修正）をします。設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに③に進んでください。
③「設定」ボタンを１回押すと現在時刻表示が点滅から点灯に変わり、現在時刻の設定（修正）が完了します。また、同時にタイマー開時刻表示が点滅し、タイマー開時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
④タイマー開時刻表示が点滅している状態で、「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押してタイマー開時刻の設定（修正）をします。設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに⑤に進んでください。
⑤「設定」ボタンを１回押すと、タイマー開時刻表示が点滅から点灯に変わり、タイマー開時刻設定（修正）が完了します。また、同時にタイマー閉時刻表示が点滅し、タイマー閉時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
⑥タイマー閉時刻表示が点滅している状態で「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押して、タイマー閉時刻の設定（修正）をします。
設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに⑦に進んでください。
⑦「設定」ボタンを１回押すとタイマー閉時刻設定（修正）が完了し、全ての設定が完了となります。

※「設定」ボタンを１回押す毎に、現在時刻設定⇒タイマー開時刻設定⇒タイマー閉時刻設定⇒通常状態を繰り返します。
各時刻設定状態では、「送り」ボタン「戻り」ボタンを押した場合のみ設定時刻が変わります。
誤って「設定」ボタンを押した場合は各時刻表示が通常状態（表示点灯状態）に戻るまで「設定」ボタンのみを押して復帰させてください。
※各時刻の設定時の「送り」ボタンまたは「戻り」ボタン操作で、ボタンを押し続けた状態にすると高速で表示時刻が送り又は戻り状態となります。１分単位で微調整する場合は、ボタン操作を１回づつ押してください。
※各時刻の設定状態（表示点滅状態）で１０秒以上ボタン操作が無い場合は、通常状態（表示点灯状態）に戻ります。
その場合は、設定状態（表示点滅状態）で画面表示されていた時刻がそのまま記憶されます。

■タイマーコントローラーの操作方法

①現在時刻およびタイマー開時刻、タイマー閉時刻設定方法の要領で、タイマー開時刻とタイマー閉時刻をセットします。
②「タイマー開」ボタンを押し、画面にタイマー開時刻が表示されていることを確認します。
タイマー開時刻が画面に表示されている場合に設定されたタイマー開時刻にシャッターは開動作します。
③「タイマー閉」ボタンを押し、画面にタイマー閉時刻が表示されていることを確認します。
タイマー閉時刻が画面に表示されている場合に設定されたタイマー閉時刻にシャッターは閉動作します。

※タイマーによるシャッター動作を行わない場合は、「タイマー開」または「タイマー閉」ボタンを押して、画面にタイマー開時刻またはタイマー閉時刻の表示が出ていない状態にしてください。
※半開状態はタイマー開時刻には開、タイマー閉時刻には閉動作します。
※非常開放レーバー操作後、停電（電源遮断）後の電源復旧（通電）時に、シャッター操作スイッチの開ボタンを押してシャッターを全開にしてください。この操作をしないと、タイマーによる正常なシャッター動作ができません。



〈タイマーが動作する状態〉

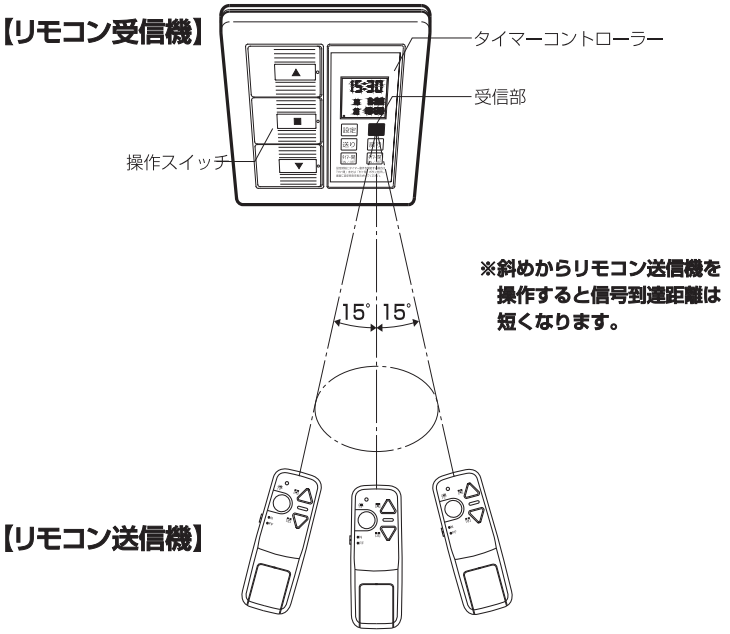
タイマー開時刻、
タイマー閉時刻が
表示されている

〈タイマーが動作しない状態〉

タイマー開時刻、
タイマー閉時刻が
表示されていない

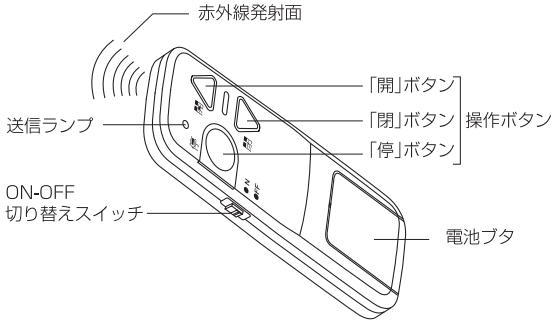
赤外線リモコン（別売品）について

1 リモコン受信機の信号到達距離



※正面からの到達距離／5m以内

2 リモコン送信機の操作



●ON-OFF切り替えスイッチをONにしてください。
OFFの状態ではリモコン操作ができません。

作動状況	操作方法
開ける時	△「開」ボタンを押してください。
止める時	○「停」ボタンを押してください。
閉める時	▽「閉」ボタンを押してください。
障害物検知装置が働いた時	障害物を取り除いた後、再度開又は閉操作してください。

※操作後にON-OFF切り替えスイッチをOFFにすると誤操作を防止することができます。

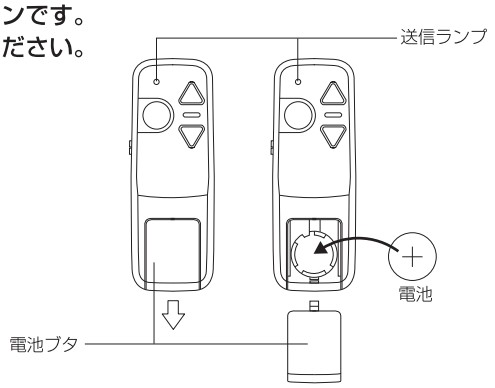
3 リモコン送信機の電池交換方法

操作ボタンを押したとき、送信ランプが早く点滅する場合は電池が消耗したサインです。
その場合信号到達距離も短くなりますので、下記の手順に従い電池を交換してください。

●リモコン電池：ボタン電池　CR2025……1個

※使用期限の過ぎた電池を使用しないでください。
※電池の(＋)(－)は正しく入れてください。
※電池の寿命は、使用状況に左右されますが、2年ごとの交換をお勧めします。
※電池交換を下記の手順通りに行わない場合は、破損する恐れがあります。
※使い終わった電池は、お住まいの自治体のルールに従って処理願います。

手順① 右図のように電池ブタをスライドさせてください。
手順② 上面が（＋）となるように電池をセットし、電池ブタを取り付けてください。



■品質向上を目的に設計仕様を変更する場合があります。

⚠注意

操作に際し、下記の事項にご注意ください。
●タイマーコントローラーの中央の四角部分が受信部になっています。受信部分表面をふさぐと、リモコンによる操作ができなくなります。
●受信部に直射日光や強い光が当たると正常に作動しないことがあります。その場合は、操作スイッチの開・閉ボタンで操作してください。
●リモコン送信機の信号到達距離は正面から５ｍです。リモコン受信部から上下・左右15°以内で操作してください。斜めからリモコン送信機を操作すると信号到達距離は短くなります。

以下の項目はおやめください。故障の原因となります。
●リモコン送信機に強い衝撃をあたえないでください。
●リモコン送信機のボタンを鋭利なもので操作しないでください。
●リモコン送信機を濡れた手で操作しないでください。

4 .お手入れ方法

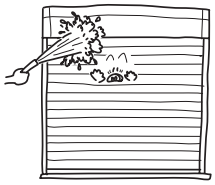
清掃の仕方

●シャッターはいつもきれいに清掃しておくことが腐食せずに長持ちさせる一番の方法です。

①柔らかい布で水ぶきをし、表面の汚れを拭き取ります。
②中性洗剤等で汚れを拭いて頂ければ、さらに長持ちします。

③硬い物で強くこすると表面に傷がつき、そこから錆びやすくなりますのでご注意ください。

④シャッターボックスの中に直接ホース等で水をかけての清掃は、故障の原因となりますので止めてください。



※ 電動12 はサッシの機構上、シャッター裏面の清掃はできません。清掃をお考えの場合はメンテナンス窓口にご相談ください。

清掃の間隔

●清掃は下記の基準をめやすとし、定期的に行ってください。

①臨海工業地帯
（京浜・中京・京阪神）……毎月1 回
②海岸地帯 ……毎月1 回
③工業地帯……2 ヵ月に1 回
④大都市地帯……2 ヵ月に1 回
⑤中小都市地帯……3 ヵ月に1 回
⑥田園地帯……4 ヵ月に1 回

日常点検

⚠ 注意

日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止めてください。

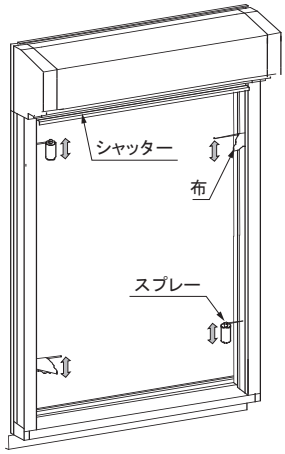
シャッターの開閉状態については以下の事項を確認してください。
●今までと違った異音がしないこと。
●今までと違った振動がしないこと。
●外観に使用上有害な変形がないこと。
●上限下限で停止すること。

シャッターのお手入れ

下記のような場合、シャッターのお手入れをお願いします。
1）シャッターの開閉が使用するうちに重くなってきた。
2）シャッターを開閉する時に音がする。
・原因として、レール内に砂埃等が入り、スラットのすべりが悪くなっている事が考えられます。下記の方法にて、お手入れしてください。

お手入れ方法
①シャッターを全開して、レール内の砂埃を布等にて拭き取ってください。
②レール内にシリコンスプレーのノズルを入れ、レール全体に（上から下まで）スプレーしてください。
③スプレー後にスラットの開閉を２～３回行い、スラットとレールにオイルをなじませてください。

※粘性の高い潤滑材は、砂埃等が付着しやすくなりますので、シリコンスプレーを使用してください。



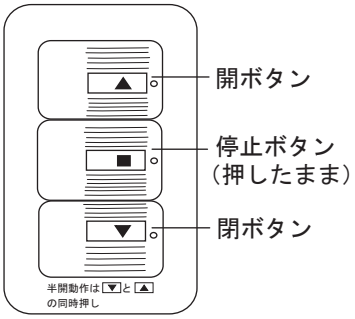
5 .故障かなと思ったら

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
操作スイッチを押しても動かない。	停電していませんか?	通電までお待ちください。 通電後は必ず最初に ▲ 開ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	13 ページ 「通電後の操作方法」
	配電ブレーカーがOFFになっていませんか?	配電ブレーカーをONにしてください。 通電後は必ず最初に ▲ 開ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	
	シャッターが凍結していませんか?	とけるのを待って操作してください。	
操作スイッチの ▲ 開では動くが、▼ 閉では動かない。 (電動13 の場合)	▼ 閉ボタンを押すとシャッターボックスから「ピピピピ」と音がする。	▲ 開ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	13 ページ 「通電後の操作方法」
シャッターが途中で止まる。		停止位置がずれています。	18 ページ 「シャッター開閉の上下限位置再設定の方法」

シャッター開閉の上下限位置再設定の方法

シャッター開閉の上限・下限の停止位置を再設定する場合は、以下の手順で行ってください。

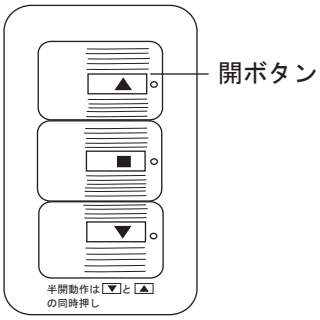
1. 設定のリセット



停止ボタンを押したまま、開ボタンと閉ボタンをゆっくりと交互に３回ずつ押します。（開→閉→開→閉→開→閉の順です）
リセット状態になるとシャッター本体のモーター部で「ピピッ」と音が鳴ります。

※確実に認識できるように、ゆっくりと行ってください。
（音が鳴らなかった場合は、やりなおしてください）

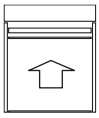
2. 上限の設定



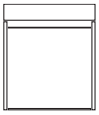
注意：リセット後は必ず上限設定を先に行ってください。

① 開ボタンを長押し（２秒以上）すると、シャッターが上昇します。
② 上限位置で自動停止して上限が自動設定されます。
上限設定が完了するとシャッター本体のモーター部で「ピピッ」と音が鳴ります。

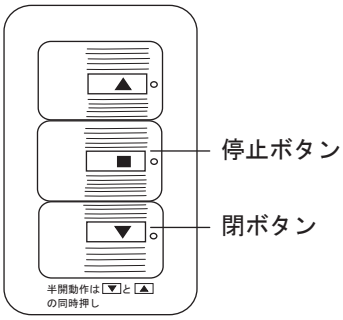
① 開ボタンを長押しすると
シャッターが上昇します



② 上限で停止し、音が鳴ったら
上限設定の終了です。



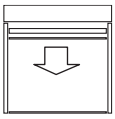
3. 下限の設定



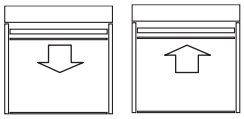
＜スチール電動タイプ＞ 電動11 電動12

① 上限設定後、閉ボタンを長押し（２秒以上）すると、シャッターが下降します。
② 上限付近で上・下動作を０～最大８回繰り返します。
③ その後再び下降を開始し、幅木が下枠に到達すると自動停止して下限が自動設定されます。
下限設定が完了するとシャッター本体のモーター部で「ピピッ・ピー・ピー・ピー」と音が鳴ります。

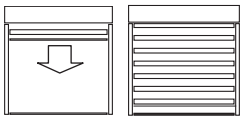
①閉ボタンを長押しする
と、動き出します



②上限付近で上・下動作を0～
最大８回繰り返します



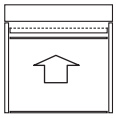
③その後、下降を開始し
下限位置で停止します



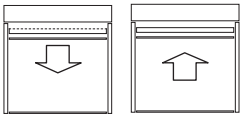
＜アルミ電動換気採光タイプ＞ 電動13

① 上限設定後、閉ボタンを長押し（２秒以上）すると、シャッターが下降します。
② 上限付近で上・下動作を０～最大３回繰り返します。
③ その後再び下降を開始し、幅木が下枠に到達する前に停止します。（スラット保護機能）
④ シャッターが停止したら、閉ボタンを押し続けて、シャッターを全閉させます。閉ボタンを離すとシャッターは止まります。（アルミ電動は、最上部の換気採光スリットが閉じた状態が全閉です）
⑤ シャッターが全閉した状態で、停止ボタンを長押し（２秒以上）すると下限が設定されます。
下限設定が完了するとシャッター本体のモーター部で「ピピッ・ピー・ピー・ピー」と音が鳴ります。

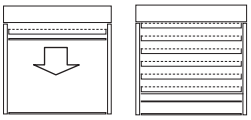
①閉ボタンを長押しする
と、動き出します



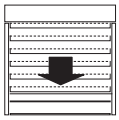
②上限付近で上・下動作を0～
最大３回繰り返します



③その後下降を開始し、幅木が
下枠に到達する前に停止します



④閉ボタンを押し
続けて全閉します。



⑤停止ボタンを長押しし、
音が鳴ったら設定終了です

6.製品保証について

本手引きは、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。
保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

施工者より商品の引き渡し日（注１、注２）から起算して次の期間とします。

① 商品の不具合については２年間（電装部品については１年間）。

② 商品からの雨水浸入については 10 年間。（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限ります）

注１）改修工事の場合は改修部分の工事完了日を起算日とします。

注２）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

本手引き、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり、不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を超えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出ることです。（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限ります）

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有償修理となります。

① 当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）

② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所（店舗など）に取付けられた場合の不具合。

③ 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合。

④ 自然環境や住環境に起因する結露などの不具合。

⑤ 環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合。（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯機などの排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）

⑥ 天災その他不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。

⑦ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合。

⑧ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合。

⑨ 植栽による不具合。（例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など）

⑩ 引渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。

⑪ お客様自身の組立て、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合。

⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。

⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する不具合。

■その他事項

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

本手引きによってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問合せください。

「防犯性能の高い建物部品」は客観的に評価された防犯性能を有する製品で、侵入を完全に防ぐものではありません。
したがって、瑕疵担保責任による損害の補償の対象とはなりません。
また、侵入盗の破壊による製品の破損は犯罪行為ですので瑕疵担保責任には該当しません。
通常のご使用での瑕疵担保補償は他の製品と同様に対応させていただきます。

新日軽　株式会社 LIXIL

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年４月１日より、
株式会社LIXILとしてお客さまの多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで
http://www.lixil.co.jp/